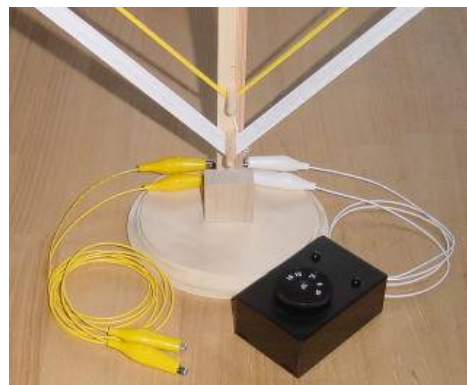
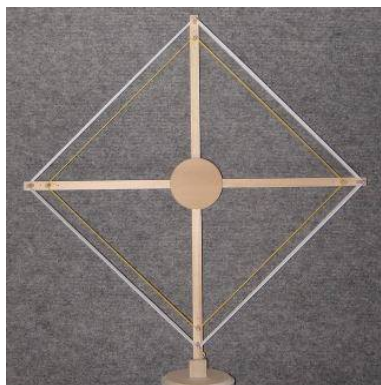


AMラジオ用ループアンテナキット

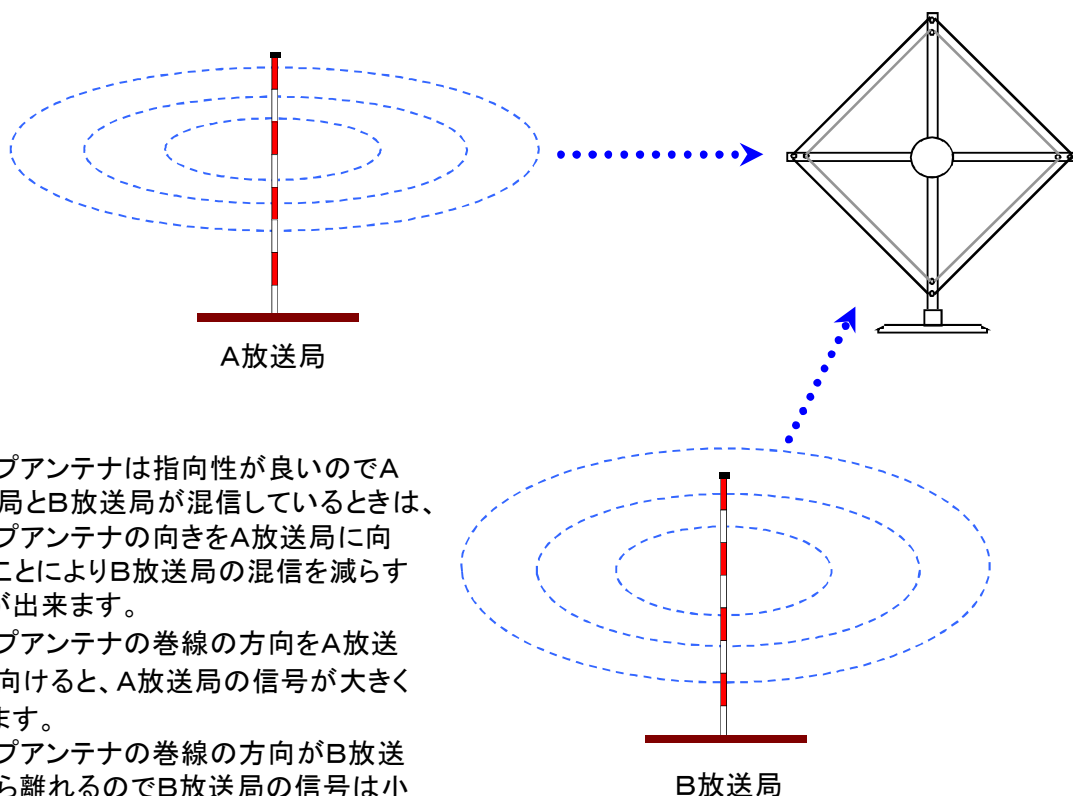
- ◎中波放送用のループアンテナです。バリコンボックス、接続コードが付属しています。
- ◎ループアンテナの巻枠の組立ては、別紙『ループアンテナの組立て』を参照してください。



<< パーツリスト >>

品名	個数	備考
巻枠一式	1	別紙の『ループアンテナの組立て』を参照してください
ビニール線(白色)	25m	1次巻線用
ビニール線(黄色)	6m	2次巻線用
バリコンボックス	1	みの虫クリップ付きコードが付いています
接続コード	2	みの虫クリップ付き 長さ1m

- ☆ 電波の強さは、送信アンテナから距離が遠くなるにつれて急激に弱くなってゆきます。また、受信場所によっても感度は変化します。
- ☆ 鉄筋の建物は電波が侵入しにくいので、窓際で使用してください。網入りガラスの窓は電波を遮断しますので、窓を開けないと電波は進入して来ません。
- ☆ ループアンテナは雑音を拾うことがあります。その場合は雑音が小さく、信号が大きくなるようにアンテナの方向を調整します

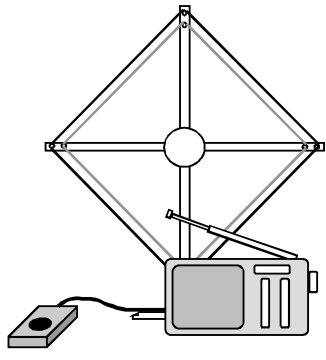
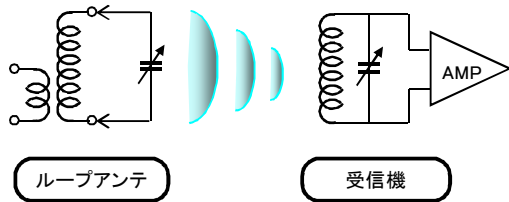


ループアンテナは指向性が良いのでA放送局とB放送局が混信しているときは、ループアンテナの向きをA放送局に向けることによりB放送局の混信を減らすことができます。

ループアンテナの巻線の方向をA放送局に向けると、A放送局の信号が大きくなります。

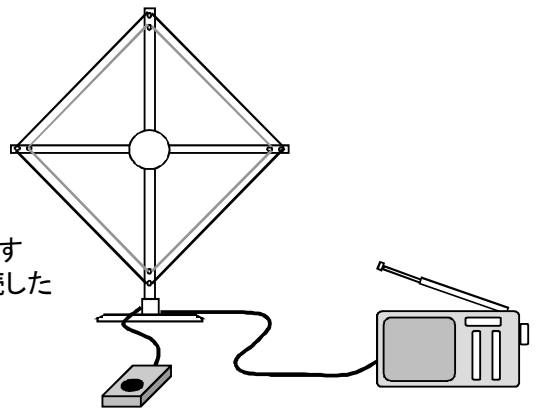
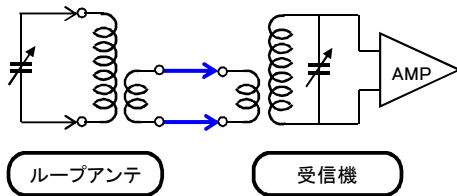
ループアンテナの巻線の方向がB放送局から離れるのでB放送局の信号は小さくなります。

希望の放送局に同調させたループアンテナの近くに受信機を置く(受信機にアンテナ端子がない場合)



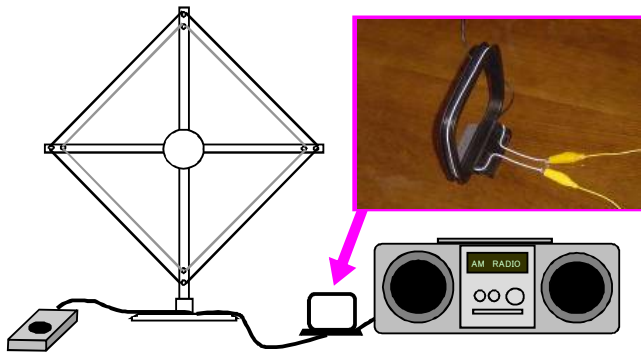
- ①ループアンテナの近くに受信機を置きます
- ②希望の周波数付近にループアンテナの一次側(白色)に接続したバリコンボックスのダイヤルを合わせます
- ③受信機を希望の周波数に合わせます
- ④感度が最大になるようにループアンテナの方向を調整します
- ⑤受信機の設置場所を感度が良くなる位置に調整します

希望の放送局に同調させたループアンテナのエネルギーを受信機に加える(受信機にアンテナ端子がある場合)



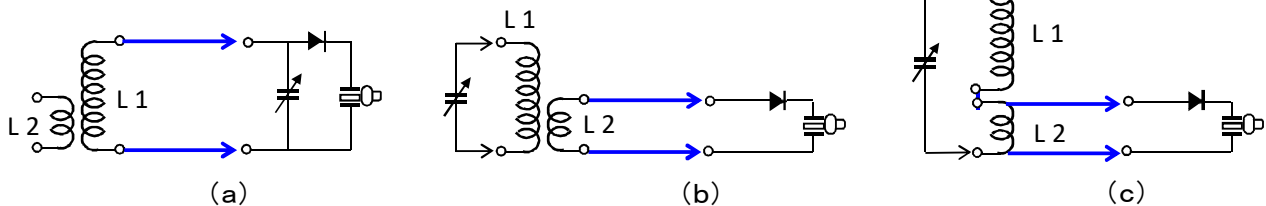
- ①ループアンテナの2次側と受信機のアンテナ端子を接続します
- ②希望の周波数付近にループアンテナの一次側(白色)に接続したバリコンボックスのダイヤルを合わせます
- ③受信機を希望の周波数に合わせます
- ④感度が最大になるようにループアンテナの方向を調整します
- ⑤バリコンボックスのダイヤルを再調整して最大感度にします

希望の放送局に同調させたループアンテナのエネルギーを受信機に加える(小型ループアンテナを使用する場合)



- ①ラジオ付属の小型ループアンテナにビニール線を1回巻き、テープで留めてリンクコイルを作ります。
- ②リンクコイルとL-001ループアンテナの二次側(黄色)を接続コードで接続します。
- ③受信機を希望の周波数に合わせます。
- ④L-001ループアンテナに接続したバリコンボックスのダイヤルを調整して感度を上げます。
- ⑤感度が最大になるようにループアンテナの方向を調整します。

ゲルマニウムラジオのアンテナコイルとして使用する



- (a) 1次巻線(L1)を直接ゲルマニウムダイオードに接続します
- (b) 2次巻線(L2)を介してゲルマニウムダイオードに接続します
- (c) 1次側巻線(L1)と2次側巻線(L2)を直列に接続して、接続点にゲルマニウムダイオードを接続します。1次巻線(L1)と2次巻線(L2)は、同じ巻線方向になるように接続します。逆方向では感度が下がります。

※同調回路とゲルマニウムダイオードの相性が良くなる接続で感度を上げます。(インピーダンス・マッチング)

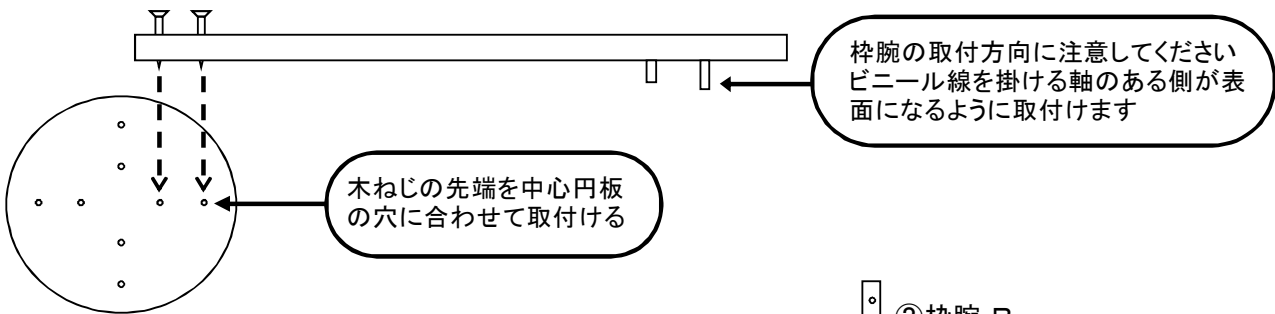
(別紙) ループアンテナの組立て

- ◎ 巻枠の組立てには、木工ボンド・ドライバーを用意してください。
- ◎ それぞれのパーツには木ねじの取付穴が開けてあります。穴の位置を合わせて組み立てます。
- ◎ 木ねじの取付穴が少しずれている場合がありますので、組立て時に全体の形を整えてください。
- ◎ 巻枠を組み立てたら、木工ボンドが完全に乾いてからビニール線を巻きます(裏面参照)

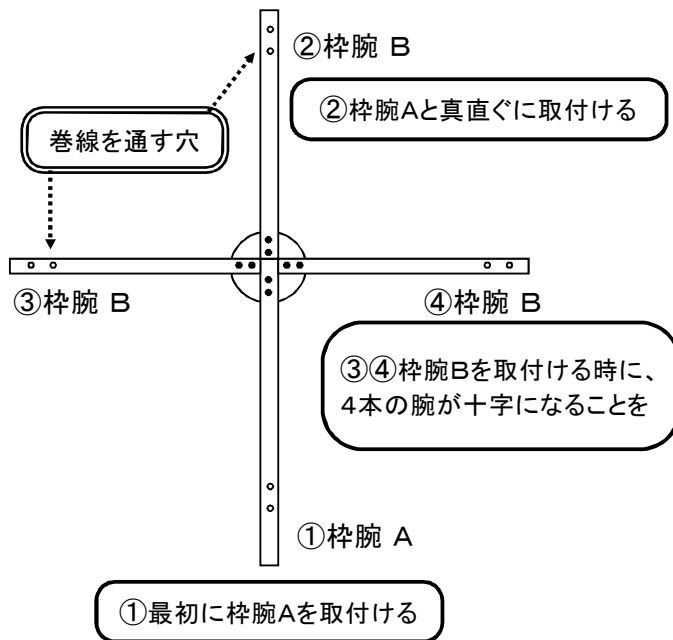
<< パーツリスト >>

品名	個数	備考
中心円板	1	巻枠の腕を取り付けます
枠腕A	1	支柱兼用です(枠腕Bより長い)
枠腕B	3	
支柱取付材	1	
丸板台座	1	
さら木ねじ	10	枠腕、支柱取付用
結束バンド	3	巻線固定用
3Pラグ板	1	巻線接続用
スペーサ	2	ラグ板取付用
丸木ねじ	3	ラグ板取付用(2)、巻線留(1)

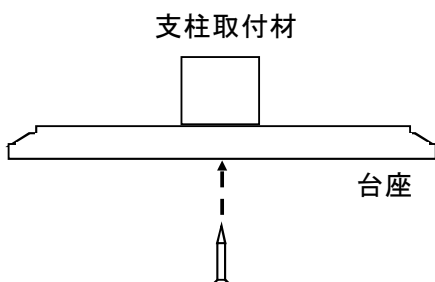
巻枠の組立て



1. 枠腕Aの木ねじ用の穴に木ねじ2本を取付ます
2. 木ねじの先を少し出して中心円板の穴と合わせてから締め付けます(仮止めですので、強く締めないで下さい)
3. 枠腕Aを中心にして枠腕B3本を同様に取付けます。4本の腕が十字になることを確かめてください
4. 1本ずつ仮止めを外して、木工ボンドを塗って本締めします
5. 木工ボンドが完全に乾くまで一晩置きます



支柱取付材と台座の組立て



1. 支柱取付材に木工ボンドをつけて、台座の裏側から木ねじで留めます。(台座に木ねじがめり込む程しっかり留めます)
2. 木工ボンドが完全に乾くまで一晩置きます